

令和4年度しょうけい館運営事業実施状況報告

(令和4年4月から令和5年1月末日まで)

目 次

1. しょうけい館利用状況

(1)しょうけい館 来館者数	02
(2)企画展 入場者数	03
(3)団体利用 集計 (団体種類別)	04
(4)団体利用 集計 (1団体人数別の団体数)	05
(5)団体利用 集計 (利用団体毎の人数クロス集計) ...	06

2. 新型コロナウイルス感染予防施策

07

3. 展 示

(1)企画展の実施	08 ~ 12
(2)ミニ展示の実施	13 ~ 15
(3)3館連携企画	16 ~ 18
(4)上映会の開催	19 ~ 20
(5)貸出キット	21

4. 資料収集・保存

(1)新規証言映像の収録	22
(2)実物資料の収集	22
(3)図書資料の収集	22

5. 普及・広報

(1)ホームページ・情報媒体利用	23
(2)メディア・掲載記	24 ~ 26

6. 語り部活動事業

27 ~ 28

7. 語り部育成事業

28

8. 友の会

29

9. 利用者アンケート

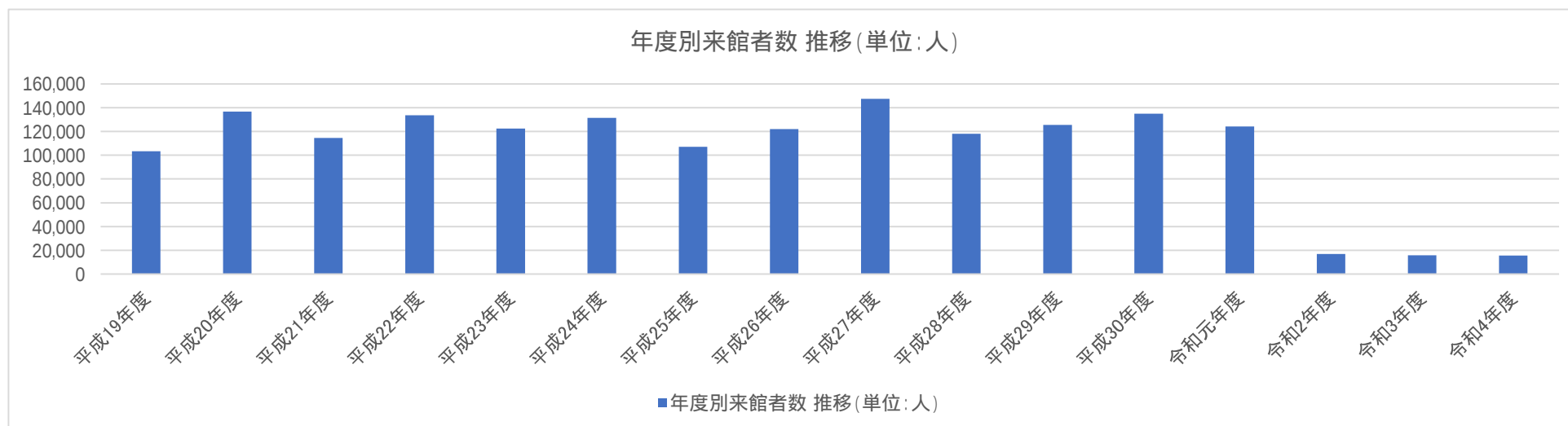
30 ~ 32

1. しょうけい館利用状況

(1)しょうけい館 来館者数 (来館者数は、館が設置している「自動カウンター機」により計測)

(単位:人)

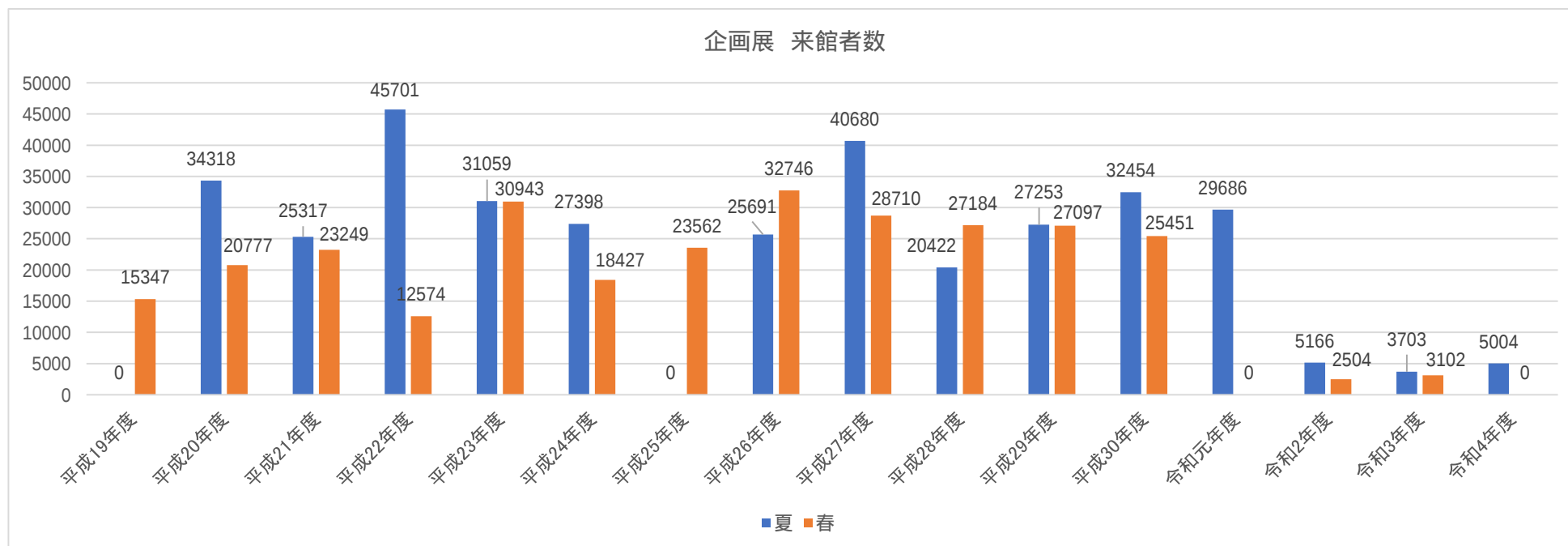
月	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4	8,439	13,980	12,276	14,139	11,723	13,568	9,644	12,806	11,873	12,327	13,761	13,978	13,824	0	1,134	1,520
5	9,193	9,395	7,592	8,164	7,982	14,710	9,421	11,224	11,526	8,864	8,732	8,796	9,413	0	—	1,361
6	8,356	14,235	11,548	11,940	11,635	12,424	11,748	12,043	12,172	12,163	12,134	9,166	10,123	1,357	893	1,492
7	10,094	10,345	10,655	16,356	12,395	12,480	10,884	13,515	16,547	9,083	12,489	12,998	13,827	1,916	1,334	1,753
8	16,608	17,316	14,640	17,260	15,192	17,236	13,592	15,763	21,267	12,663	16,369	19,039	17,147	2,646	2,320	2,974
9	8,277	13,664	7,610	12,996	10,125	9,892	8,205	8,943	12,218	8,387	8,453	9,199	8,733	2,194	1,004	1,359
10	6,653	7,392	8,252	9,186	8,346	12,664	8,960	9,479	10,350	8,590	9,028	10,510	9,161	1,506	1,529	1,327
11	8,365	6,232	7,144	9,888	8,024	8,264	8,124	8,477	9,624	6,347	9,118	11,013	11,332	1,569	1,347	1,315
12	5,497	7,760	8,316	8,792	7,953	8,012	8,442	8,602	11,753	8,888	7,382	9,045	9,623	1,177	1,262	1,339
1	4,910	16,527	7,580	8,140	6,203	5,210	5,970	5,994	12,422	9,169	8,247	10,266	11,213	1,443	1,360	1,205
2	7,311	10,476	8,893	8,912	8,420	7,118	4,381	5,119	8,673	9,194	8,358	11,397	9,804	1,610	1,693	
3	9,609	9,392	10,008	7,783	14,380	9,859	7,734	10,102	9,025	12,381	11,407	9,444	0	1,564	1,869	
計	103,312	136,714	114,514	133,556	122,378	131,437	107,105	122,067	147,450	118,056	125,478	134,851	124,200	16,982	15,745	15,645



(2)企画展 来館者数

(単位:人)

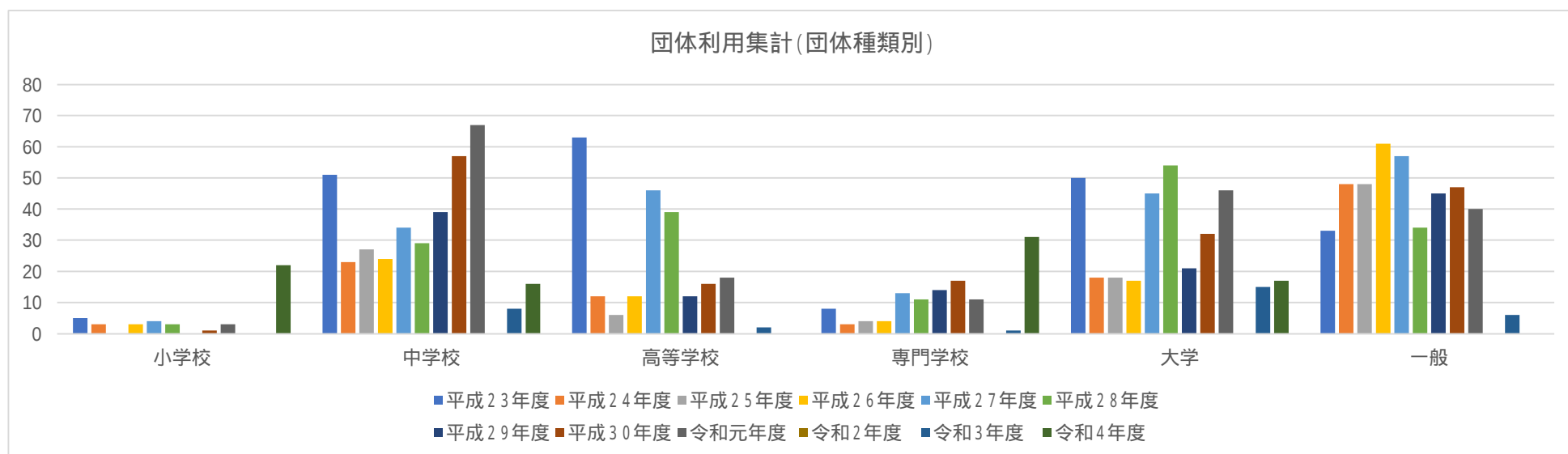
夏	—	34,318	25,317	45,701	31,059	27,398	—	25,691	40,680	20,422	27,253	32,454	29,686	5,166	3,703	5,004
春	15,347	20,777	23,249	12,574	30,943	18,427	23,562	32,746	28,710	27,184	27,097	25,451	中止	2,504	3,102	—



(3) 団体利用集計(団体種類別)

令和5年1月末日(単位:団体)

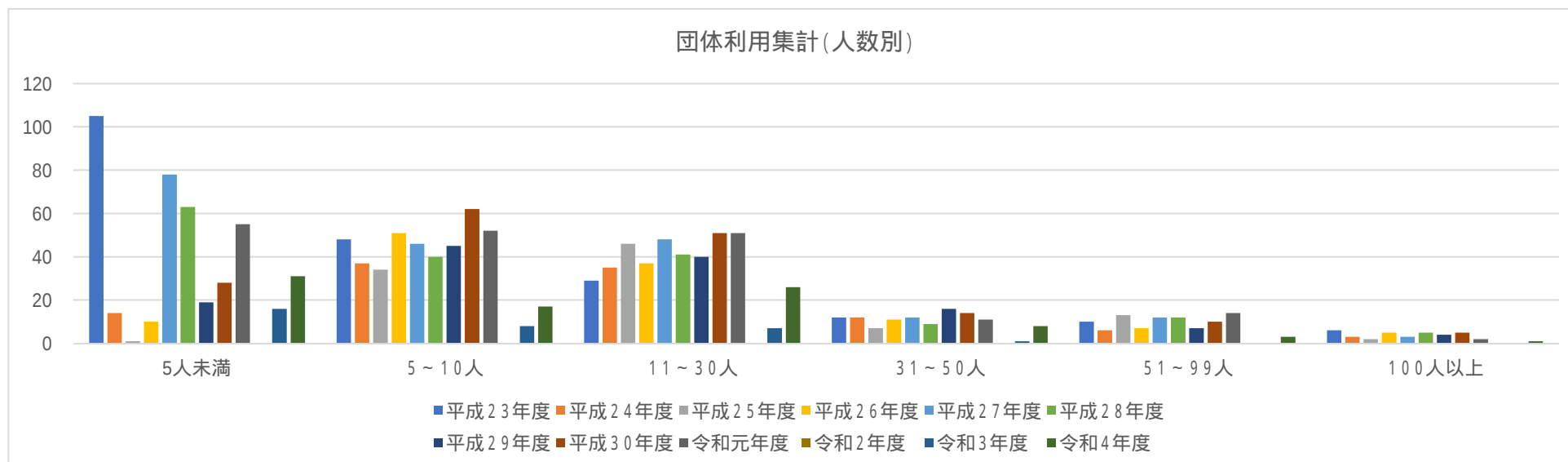
	小学校	中学校	高等学校	専門学校	大学	一般	合 計
平成23年度	5	51	63	8	50	33	210
平成24年度	3	23	12	3	18	48	107
平成25年度	0	27	6	4	18	48	103
平成26年度	3	24	12	4	17	61	121
平成27年度	4	34	46	13	45	57	199
平成28年度	3	29	39	11	54	34	170
平成29年度	0	39	12	14	21	45	131
平成30年度	1	57	16	17	32	47	170
令和元年度	3	67	18	11	46	40	185
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	8	2	1	15	6	32
令和4年度	0	22	16	0	31	17	86



(3) 団体利用集計(1団体人数別の団体数)

令和5年1月末日(単位:団体)

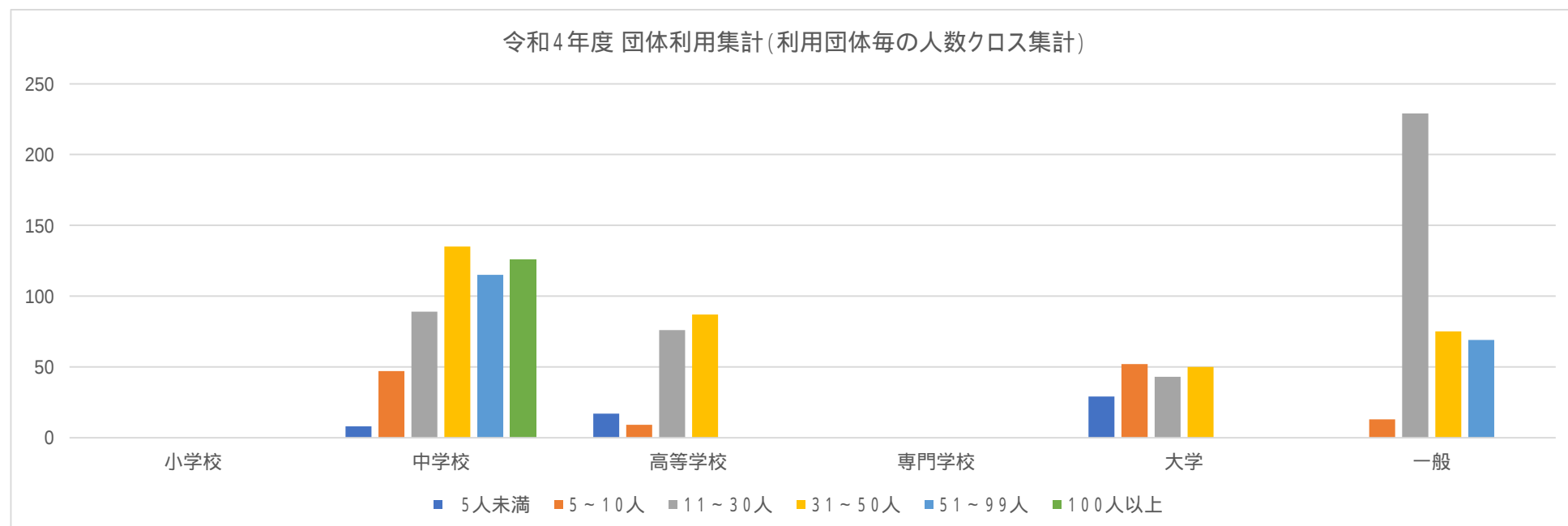
	5人未満	5～10人	11～30人	31～50人	51～99人	100人以上	合 計
平成23年度	105	48	29	12	10	6	210
平成24年度	14	37	35	12	6	3	107
平成25年度	1	34	46	7	13	2	103
平成26年度	10	51	37	11	7	5	121
平成27年度	78	46	48	12	12	3	199
平成28年度	63	40	41	9	12	5	170
平成29年度	19	45	40	16	7	4	131
平成30年度	28	62	51	14	10	5	170
令和元年度	55	52	51	11	14	2	185
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	16	8	7	1	0	0	32
令和4年度	31	17	26	8	3	1	86



(3) 令和4年度 団体利用集計(利用団体毎の人数クロス集計)

令和5年1月末日(単位:人)

	小学校	中学校	高等学校	専門学校	大学	一般	合 計
5人未満	0	8	17	0	29	0	54
5～10人	0	47	9	0	52	13	121
11～30人	0	89	76	0	43	229	437
31～50人	0	135	87	0	50	75	347
51～99人	0	115	0	0	0	69	184
100人以上	0	126	0	0	0	0	126
	0	520	189	0	174	386	1,269



2. 新型コロナウイルス感染予防施策(本項については、令和5年3月13日以降の情報を記載しました。)

令和4年夏の爆発的な感染拡大後、社会的に行動緩和が進み、(財)日本博物館協会「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」も、令和4年9月21日及び令和5年3月13日付けで改訂されました。これに合わせて、館の感染予防対策も見直し、運営方針を再検証し、運営にあたりました。

(1) 来館者の氏名、連絡先 取得の廃止

- ・9月末日をもって来館者に記入いただいていた氏名・連絡先の取得を取りやめました。
- ・検温は継続しています。

(2) 個人の判断によるマスク着用

- ・令和5年3月13日からマスク着用は個人の判断にゆだねることを基本とします。
- ・ただし、混雑時など感染対策上必要と認められるときはマスク着用の呼びかけを検討します。

(3) イベントなどの開催について

- ・企画展に付帯した講演会等のイベントや、語り部講話会の実施は十分な感染対策を施したうえで実施できることとしました。
- ・但し、学芸員によるフロアレクチャーは引き続き中止としています。

(4) 接触を伴う展示、図書の扱いについて

- ・現状と変更ありません。(めぐり証言台については時機を見て、感染対策を行っての再開を検討)

(5) 団体見学者数、諸室の収容人数設定

- ・館の最大収容人数は、現状の設定値で継続しています。(1階:45名/2階:45名 計90名)
- ・団体見学は1団体20名を最大とし、それを超える場合はグループ分けし、見学時間などをずらして対応する運営を継続します。

3. 展 示

(1) 企画展の実施

春の企画展：「残された言葉や声をたずねて」

<会 期> 令和4年3月15日(火)～5月8日(日)

<内 容> 戦傷病者は、戦中・戦後を通してさまざまな苦しみや辛さを抱え、彼らは、自身の体験を書籍や手記に綴ったり、映像で当時の思いを語ったりしました。

その中には、戦地での思いや、戦後も続く傷の痛み、これまでの人生を振り返った心境など、さまざまな場面に応じて発せられた印象的な言葉や声の数々が残されており、それらに焦点をあて展示いたします。

<関連催事> 証言映像上映会：展示に関する証言映像を上映(会期中毎日)



春の企画展：「残された言葉や声をたずねて」



夏の企画展：「戦場の軍医と衛生兵」

<会 期> 令和4年7月12日(火)～9月11日(日)

<協 力> 独立行政法人国立病院機構小倉医療センター、内藤記念くすり博物館、公益財団法人目黒寄生虫館、陸上自衛隊衛生学校彰古館

<内 容> 先の大戦における軍の医療活動、負傷兵への対応などを、軍医や衛生兵の資料を中心に紹介しました。野戦病院、兵站病院の機能などについても、治療を受けた負傷兵の体験を元に取り上げました。

<関連催事> 証言映像上映会：展示に関する証言映像を上映(会期中毎日)



夏の企画展：「戦場の軍医と衛生兵」



③ 企画展：「戦傷病者を支えた女性たち」

< 会 期 > 令和5年3月14日(火)～6月25日(日) 延長の可能性あり

< 内 容 > これまで開催した企画展の中から、戦中・戦後を通して非常に重要な役割を担ってきた女性たちについて改めて着目し、従軍看護婦と、戦傷病者の妻たちの労苦を、元看護婦の方から寄贈された資料や看護体験を綴った書籍、戦傷病者の妻から寄贈された資料を展示し、紹介します。

< 関連催事 > 証言映像上映会：展示に関する証言映像を上映(会期中毎日)

【参考とする過去の企画展】

平成28年 夏の企画展

「夫とともに歩んだ道～戦傷病者の妻として生きて～」



平成29年 夏の企画展

「戦傷病者の労苦(いたみ)のそばで

～“白衣の天使”と呼ばれた従軍看護婦たち～」



(2)ミニ展の実施

第31回：失明戦傷病者の労苦

<会 期> 令和4年5月10日(火)～7月10日(日)

<内 容> 「戦中・戦後の失明戦傷病者」と「眼の受傷と労苦」に焦点を当てて、手や足の受傷とはまた異なる「失明」苦労があり、受傷前には当たり前に出ていた日常生活が困難となったり、希望する職種へ就職できなかったりと、つらい生活を余儀なくされた様子を、寄贈された貴重な資料で展示するとともに、失明戦傷病者の証言映像を上映しました。



第32回：軍靴—軍隊生活と行軍の労苦—

<会 期> 令和4年9月13日(火)～12月27日(火)

<内 容> 軍靴(ぐんか)は、軍隊生活で最も身近な装備品のひとつであり多くの種類があり、しょうけい館ではご寄贈により多数収蔵しました。

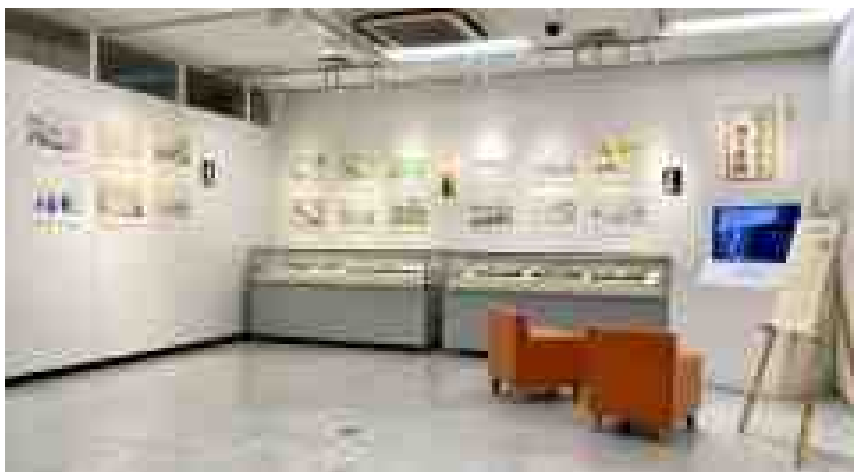
これらの軍靴からみえる戦傷病者の労苦の一場面として、“行軍”があり、このミニ展示では、軍靴の種類や役割、行軍の際に注意すべき病気、行軍に関する戦争体験と労苦などを紹介しました。



③ 第33回：絵で伝える戦争体験

<会 期> 令和5年1月5日(木)～3月12日(日)

<内 容> このミニ展示では、従軍中の様々な戦争体験を、裏書などの説明を加えて全8冊の記録画集(約300枚)の中から、使用していた道具などの資料と合わせて展示致しました。



(2) 3館連携企画

3館連携企画展

<主 催> しょうけい館・昭和館・平和祈念展示資料館

<会 期> 令和4年11月18日(金)～11月26日(日) 午前10時～午後6時

<会 場> 神奈川県 横浜市民ギャラリーあざみ野 (横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 アートフォーラムあざみ野内)

<後 援> 神奈川県、神奈川県 教育委員会 横浜市健康福祉局 横浜市教育委員会 神奈川新聞社

<協 力> 一般財団法人 神奈川県遺族会 および一般財団法人日本遺族会第2ブロック

<内 容> ゲゲゲの鬼太郎に代表される漫画家であり、妖怪研究家としても有名な水木しげるさんは、戦争で左腕を失った戦傷病者として、九段下しょうけい館でも特別展示しています。3館連携企画展では、初めて首都圏で開催することもあり、特別に新たな資料を加え、水木しげるさんご自身の戦争体験を伝え残した作品や資料を展示し、併せて、しょうけい館が戦傷病者の戦中戦後の労苦を伝える取り組みも紹介しました。



(水木プロダクションとの著作物使用許諾契約に基づき、写真の転載・二次使用は禁止とします。)

3 館連携企画展



(水木プロダクションとの著作物使用許諾契約に基づき、写真の転載・二次使用は禁止とします。)

夏休み3館めぐりスタンプラリー

<主 催> しょうけい館・昭和館・平和祈念展示資料館

<会 期> 令和4年7月16日(土)から9月4日(日) 3館にてスタンプ台紙を配布

<内 容> しょうけい館、昭和館、平和祈念展示資料館の3館を巡り、

3館のスタンプを集め終わった方に最後の館で3館のオリジナルグッズを配布しました。

<参 考> 各館オリジナルグッズ

・しょうけい館……………花森安治氏マスクケース2種

・昭和館……………小松崎茂氏オリジナルノート + クリアファイル

・平和祈念展示資料館……オリジナルイラスト入りボールペン

<3館合計参加人数> スタンプ台紙配布枚数:4,883枚 (前年度 3,655 枚) 3館スタンプ完了参加賞配布数:555組 (前年度 372 組)



オリジナルグッズ

こども霞が関見学デー

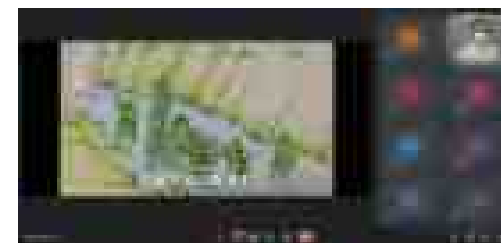
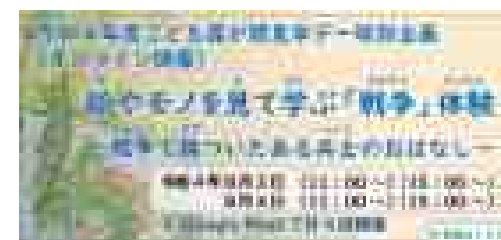
令和4年度の「こども霞が関見学デー」は、オンラインプログラムで開催され、しょうけい館と昭和館も、厚生労働省のプログラムとしてオンライン配信を構成し、参加いたしました。

<会 期> 令和4年8月3日(水) 4日(木) 各 11:00 ~ 15:00 ~ (計4回) オンライン開催

<内 容> 絵やモノを見て学ぶ「戦争」体験 ~戦争傷ついたある兵士のおはなし~

当館所蔵資料である柳田幸敏さんが描いた約300枚の戦争体験の絵の中から、象徴的な約70枚を用いて、当館学芸員が、柳田さんの人生と戦争についてお話ししました。

・接続数: 48アカウント(4回合計)



(4) 上映会の開催

証言映像定期上映会

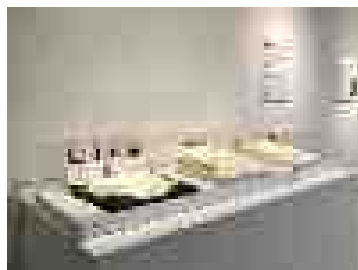
「戦傷病者の証言～妻たちの労苦編～」

<期 間> 令和4年5月10日(火)～7月10日(日)

<内 容> テーマに沿った証言映像4本を上映、収蔵資料も展示しました。

<タイトル>

- ・開墾・切り開いた人生～小学校教員から軍人の妻へ～
- ・二人で一人、傷痍軍人の妻として
- ・障害を超えたおおらかさ
- ・傷痍軍人の妻として・・・



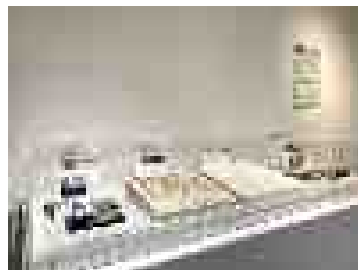
「戦傷病者の証言～仕事の労苦編～」

<期 間> 令和4年9月13日(火)～11月6日(日)

<内 容> テーマに沿った証言映像4本を上映、収蔵資料も展示しました。

<タイトル>

- ・親指が支えた人生
- ・蟻地獄からの脱出
- ・小学校を出て先生に
- ・傷支えられた歩み



「戦傷病者の証言～結核編～」

<会 期> 令和4年11月8日(火)～12月27日(火)

<内 容> テーマに沿った証言映像3本を上映、収蔵資料も展示しました。

<タイトル>

- ・終戦から始まった30年の闘い～銃創と結核～
- ・すべてめぐり合わせと思って
- ・戦病者として生きる



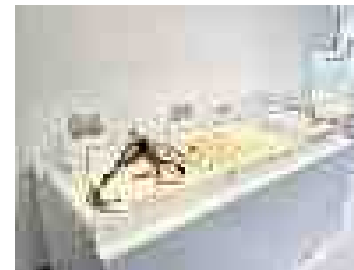
「戦傷病者の証言～利き腕の受傷編～」

<会 期> 令和5年1月5日～2月7日 / 2月15日(水)～3月12日(日)

<内 容> 利き腕を受傷した方の証言映像4本を上映し、資料展示しました。

<タイトル>

- ・親指が支えた人生
- ・蟻地獄からの脱出
- ・小学校を出て先生に
- ・傷支えられた歩み



(4) 上映会の開催

夏の企画展上映会

< 期 間 >

< 内 容 > 夏の企画展「戦場の軍医と衛生兵」に関連して、戦傷病の治療や、戦傷病者とその家族などの証言映像10本を上映しました。

< タイトル >

- ・インパール作戦の最前線で―隊附軍医の記憶―
- ・本土決戦前の軍医教育～元陸軍衛生部見習士官の記憶～
- ・元海軍薬剤少尉の記憶
- ・衛生兵のビルマ戦線
- ・衛生兵ゆえの感染
- ・西部ニューギニア・軍医の闘い
- ・国のために生きて～元海軍軍医中尉の記憶～
- ・天地の恵みを知る～ニューギニアで終戦を迎えた軍医～
- ・海軍看護兵 若き日の記憶
- ・衛生兵の受傷

平和祈念展示資料館連携企画

< 期 間 > 令和5年2月8日(水)～2月14日(火)

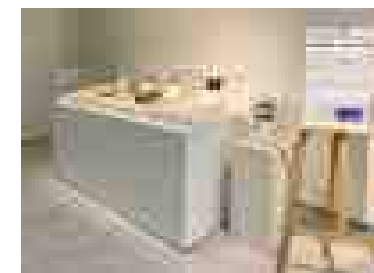
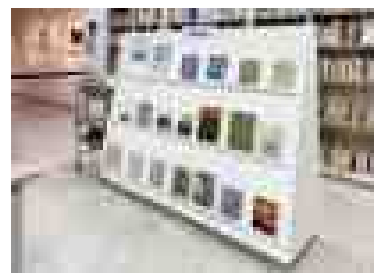
< 内 容 > 平和祈念展示資料館の九段ギャラリーでの特別展に合わせて、中国戦線で受傷した戦傷病者の証言映像4本と、テーマに合致する本人の資料を展示しました。

< 平和祈念展示資料館 特別展示 >

「軍人たちの描いた大陸スケッチ」

< 証言映像 >

- ・伸びきった最前線での受傷
- ・苦労、我慢、言ったらきりがない
- ・失意の時に届いた一通の手紙
- ・いつも傷痕の夫を想いつづけて



(5) 貸出キット

令和4年度は、キットの貸出は、ありませんでした。

貸出キット構成内容（常設展示室で展示している内容をコンパクトにまとめたもの）

展示パネル (解説パネルと関連パネルで構成)	30点	*戦争とその時代 *戦地での受傷病と治療 *本国への搬送・帰還後の労苦 *戦後の労苦 (など)
実物資料	1点	*義足
展示パネル	8点	*戦中の労苦 *戦争とその時 *受傷 *救護・収容 *戦時下の療養生活 *終戦直後の労苦 *戦後の労苦 *傷病とともに生きる
箱根療養所パネル	7点	*箱根式車椅子と子どもの作文 *箱根病院の変遷 *戦中の療養 *戦後の療養 *入所者を見守った書画 *傷兵院と箱根療養所の入所者数 *入所者の支え
証言映像DVD	1点	

4. 資料収集・保存

(1) 新規証言映像の収録

令和4年度は、新規収録は行わず、既存映像の整理と、来年度の収録に向けて調査を行いました。

(2) 実物資料の収集

寄贈では、戦傷病者本人に関する資料(恩給診断書、症状経過書などの証明書類、軍人傷痕記章など)を受け入れました。

購入では、入院時の様子を写した傷痕兵の写真帳、陸軍衛生材料廠製の熱中症予防薬などを入手しました。

令和3年度末までの登録数(内、平成24年度まで 10,853点)	31,571点
令和4年度の資料寄贈(令和5年1月末現在)	287点
令和4年度の資料購入(令和5年1月末現在)	49点
館所蔵資料総合計(令和5年1月末現在)	31,907点

令和3年11月から令和4年12月の受け入れ資料については、令和4年12月5日より12月9日まで燻蒸を実施した。

(3) 図書資料の収集

寄贈では、連隊史、戦友会誌などを受け入れました。

購入では、軍陣医学に関する書籍や外地の陸軍病院関係者の回顧録などを入手しました。

令和3年度末までの登録数(内、平成24年度まで 7,892点)	10,321点
令和4年度の図書寄贈(令和5年1月末現在)	68点
令和4年度の図書購入(令和5年1月末現在)	20点
館所蔵資料総合計(令和5年1月末現在)	10,409点

5. 広報・普及

(1) ホームページ・情報媒体利用

「広報千代田」等の広報物、東京都博物館協議会等の刊行物、「千代田区観光協会」HP、「インターネットミュージアム」、「イベントバンク」等の情報サイトを活用し、令和4年度は地方展、企画展や定期上映会等について、それぞれの媒体に対して19回掲載し、新鮮な情報提供に努めました。

しょうけい館ホームページにおいては、「館だより」を11回、企画展等その他のページ情報を27回更新したほか、令和4年度も、企画展の展示資料を紹介する特設ページを設けるなど、コロナ禍で来館できない方々にも展示内容を知ってもらえるようにしました。

しょうけい館のホームページは、データベースを活用した図書検索機能を、フリーワードのほか、書名、著者名、出版者(社)、出版年、ジャンル、分類番号を用いた容易な検索により、機能性の高いホームページとして認識されています。

(2)メディア・掲載記事

令和4年4月14日【毎日新聞】

「戦傷病者の苦勞を伝える」

春の企画展「残された言葉や声をたずねて」が紹介されました。

令和4年11月22日【東京新聞】



令和4年11月22日【東京新聞】

「水木しげるさんの戦争体験」

3館連携企画展の取材で、しょうけい館展示の「水木しげるさんの戦争体験」が、大きく取り上げられました。



(2) メディア・掲載記事

令和4年5月22日【現代ビジネス】

「日本のために戦い、犠牲となったのに...戦後、過酷な境遇を生きた「傷痕軍人とその妻たち」
記事が「Yahoo!トピックス」にアップされた直後の当館 HP アクセス数は、通常時の
約 15 倍になり、それに伴い「ネットの記事を読んで観たくなった」という来館者が
顕著に増加しました。

(インターネットより一部掲載)



2019年10月10日

日本のために戦い、犠牲となったのに…戦後、過酷な境遇を生きた「傷痍軍人とその妻たち」



フリーと園田

1000

■ 忘れられた「戦争の記録」

[illegible]

「お母、お母君と一緒、中野先生の新しいお友達と一緒お勉強先生だった。でもお母君は、結構いいお勉強先生が来るかいて遊ぶ。そのお母君は40歳近くだったから特別に寛いでいる。水に立ち上がり、お水泳を教えようとする優しい先生のお勉強には、随分お水泳の下手で大きく、とびとびとした波紋の形に傷があった。それは水泳パンツの中まで透しているらしかった。お母君のお水泳のあちこちにも傷が透っている。子供心にも、あまりに面白くない。お水泳は何の道楽もなく聞いてしまった。「それどうしたの？」 お勉強先生はあまりに苦しかった。

「國事で平水に落ちた品類は」

彼は、元傷痍軍人だった。母にならなければならなかった大きな傷。戦争で傷つながらもそれを隠して戦線を生きた兵士たちは、昭和初期でも大衆社会にいたはずだ。彼らの存在はもともと見えにくく、このころにはとくに目撃はされていなかった。

(2) メディア・掲載記事

令和4年11月2日【NHK】

ハートネットTV「戦争で失明した兵士たちの短歌 歌い継がれる戦盲歌」



戦争で失われた兵士たちの慰霊 慰い、癒される物語

1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 26

1000

根據本研究所之「*臺灣地區勞工對勞工保險之認知與投保意願調查*」顯示，雖然有極大多數受訪者認為勞工保險對勞工而言是必要的保障，但仍有少數受訪者認為勞工保險對勞工而言是不必要的保障，其原因如下：

[illegible]

【例 1】某企业 2013 年 12 月 31 日应收账款账面余额为 1000 万元，已计提坏账准备 100 万元。2014 年 1 月 1 日，该企业应收账款账面余额为 1200 万元，已计提坏账准备 120 万元。2014 年 1 月 1 日，该企业应收账款账面余额为 1200 万元，已计提坏账准备 120 万元。2014 年 1 月 1 日，该企业应收账款账面余额为 1200 万元，已计提坏账准备 120 万元。

[illegible][illegible]

《中共中央关于全面深化改革若干重大问题的决定》指出，创新是引领发展的第一动力，必须把创新摆在国家发展全局的核心位置，不断推进理论创新、制度创新、科技创新、文化创新等各方面创新，让创新贯穿党和国家一切工作，让创新在全社会蔚然成风。

[illegible]

1000

Abstract

Source: <http://www.fishbase.org>. Accessed 12/10/2011.

6. 語り部活動事業

次世代の語り部講話活動

1期生10名、2期生7名に加え、昨年度に修了した3期生3名により「次世代の語り部」講話活動を実施しています。

【館内講話】

NO.	日 付	団 体 名	語り部委嘱者		人 数
1	令和4年 5月31日	東急バス労働組合	湯浅 美和子		32名
2	令和4年 6月15日	埼玉県上尾中学校	榎本 瞳		11名
3	令和4年 7月13日	全国厚生労働省担当者絡協議会	山本 有紀乃	中平 裕子	62名
4	令和4年 7月18日	千葉明德短期大学	榎本 瞳		8名
5	令和4年 9月16日	浦和ルーテル学院高校	大野 真理子		21名
6	令和4年10月 5日	皆さんで楽しく歩こう会	高峰 章		14名
7	令和4年12月16日	二松学舎大学付属高校	中平 裕子		37名
8	令和5年 1月15日	和洋九段女子高等学校	林 裕司		47名
9	令和5年 1月24日	有志会	山本 有紀乃		24名

8月15日の終戦記念日に合わせて、語り部講話会を開催する準備を行っていましたが、新型コロナウイルスの感染が急速に再拡大したため中止しました。

(団体見学 語り部講話の様子)



東急バス労働組合



埼玉県上尾中学校



千葉明德短期大学



二松学舎大学付属高校

【派遣講話】

NO.	日 付	団 体 名	語り部委嘱者		人 数
1	令和4年 8月 6日	港区立赤坂図書館	保坂 弘子		7名
2	令和4年10月12日	東京都立国際高等学校	中野 静香	大野 真理子	55名
3	令和4年10月31日	二松学舎大学	塚原 浩太郎		24名
4	令和5年 1月17日	フェリス女学院大学	小暮 倫子		21名

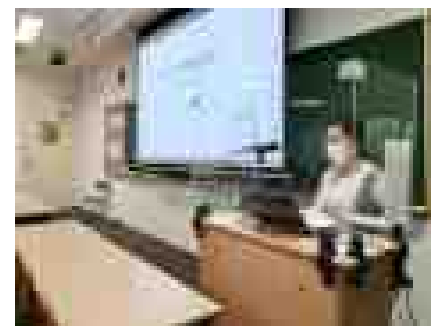
(団体見学 語り部講話の様子)



港区立赤坂図書館



都立国際高等学校



フェリス女学院大学

【交流会】

12月3日(土)には、中国帰国者支援・交流センターの語り部による講話会を主催し、当館の語り部6名がこれを聴講し、意見交換などを活発に行いました。

7. 語り部育成事業

育成事業は、令和3年度で修了していますが、3期生1名が体調不良により休止しています。現在も治療中のため、引き続き回復を待って、研修を再開します。

8. 友の会

加入登録者数： 518人（令和5年1月現在） 友の会会員は元日本傷痍軍人会会員と、同妻の会会員とご家族

- ・令和4年 8月に友の会通信 第14号を会員の方へ発送
- ・令和5年 3月に友の会通信 第15号を会員の方へ発送

(友の会通信 第14号)



(友の会通信 第15号)

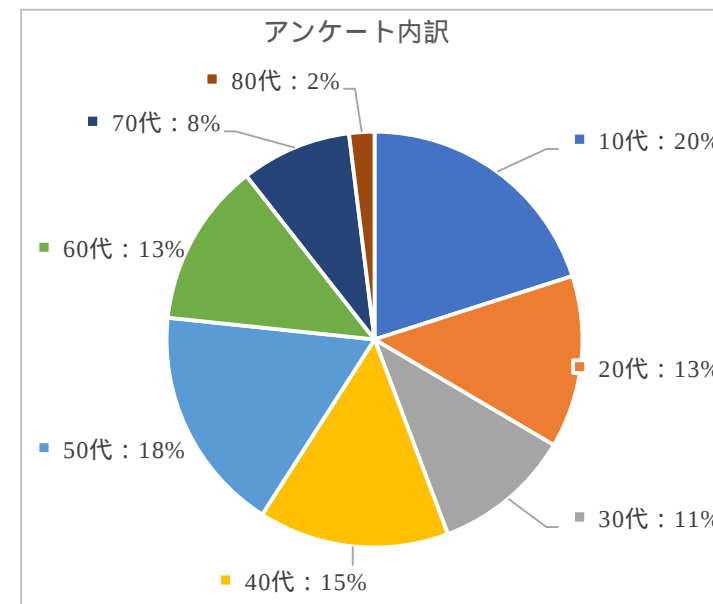


9. 利用者アンケート

令和4年度は、1222 件の回答が寄せられました。

年代別の件数と内訳比率

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
比率	20%	13%	11%	15%	18%	13%	8%	2.0%
件数	245	164	132	181	215	156	105	24



【10代】

○学校の教科書には載っていない、傷を負った兵士のその後が知れました。

○2階のジオラマの迫力が素晴らしく、当時の悲惨な現状や兵士の苦痛が生々しく描かれた展示だと思いました。

○語り部の講話は、場面が想像しやすく、聞き入ることができました。

○見学を通して、戦争を経験した人々のその後の苦労や思い、そして何よりも戦争の悲しさを学ぶことが出来た。二度と戦争をおこさないためにも、ここで感じた思いを大切にしながら、平和の大切さを広めていきたいと思う。

【20代】

○実際にモノ・傷・証言を通して知るという事は今までも経験した事がなく、戦後に残った「戦争の証」について学べたと感じました。

○今まで戦時中のお話を聞くことはありましたが、戦傷患者として、戦争を経験し、多くの苦勞してきた方々のお話を知り、衝撃を受けました。今後、私たちがきちんと語りつぎ、残していかななくてはならないと強く思いました。

○ジオラマは表情まで細かくできていて、自分がその場に入りこんだような「リアル」さがあって、印象的でした。

○戦争で多くの方が亡くなり、傷を負ったことは、知識として知っていましたが、その後、どういう人生を歩まれたか想像したことがありませんでした。そのため、この展示を見て、戦争は終戦したが、一人一人の戦いは終わることがないと悲しくなりました。戦争の経験を語り継ぎ、二度と戦争をおこさないことが大切だと思いました。

【30代】

○水木しげるのコーナー目当てに来ましたが、他の展示内容も見応えがあり、すっかり引き込まれました。

○物が豊富にあり、経済も豊かになった現代日本。記憶から忘れつつある戦争に関することについて、考えるととても良い機会となりました。

○戦争で命を落とす、その言葉だけではとても想像が追いつかない、残酷かつ過酷な現実の一部を知ることができました。同時に、体や心にはかり知れない傷を抱えても、生きていかなければいけないという思いで、生き抜くことのできる人間の強さを見ました。実際に、祖父母などから話を聞くことができなくなるこれからの時代に、もっと知らなければいけないことを感じました。

【40代】

○戦争を語り継いで下さる世代の人がいなくなっているのも、しょうけい館は大切な史料館だと思います。

○一番印象的であるのはジオラマのリアルな所で、何とも言えない思いがする。戦争で亡くなる方も生きのびても障がいを抱える方も、戦争が残すものの大きさを感じた。

○初めて来館しましたが、軍医と衛生兵というテーマでの企画展が観られて、それぞれの立場からの心境や証言を知ることができ、貴重な機会をありがとうございました。

十数年前に亡くなった祖父は戦争に行きましたが、戦争について語ったことはわずかでした。生存者の方も少なくなり、戦争の記憶が薄れてしまわないよう、私ももっと学び、子供にはしっかり伝えていきたいと思っています。

○証言ビデオはとても貴重に思います。おそらくビデオの中で語られている方も多くは鬼籍に入られていることでしょう。後世代への継承を強く望みます。

【50代】

○インターネットでしょうけい館のことを知りました。学校で平和学習を行っていますが、戦争の先にあるものを想像を膨らませて学んでいくことが大事だと思いました。

戦争体験された方々のご苦労や苦しさを想像しても自分では想像できない位の苦しみだと思いますし、今回来館させていただいて「まずは自分から」の気持ちで平和へとつなげていきたいと思いました。

○戦争は、人生を変える恐ろしいものだということを資料館で実感しました。

○水木しげるさんの展示や著書を見ると、リアルに戦争の怖さや悲惨さを感じます。戦争に対する思いを改めて感じさせていただきました。

【60代】

○戦争体験者が少なくなっている中、戦争の悲惨さを伝えていくためにも必要な証言や資料がたくさんありました。

○大変勉強になりました。戦争を扱っている所は多いですが、戦傷病者を扱っているのを見るのは初めてでした。水木しげるの事も今まで知らなかったことが多くて勉強になりました。

【70代】

○展示を観させていただき良かったです。図書のほうも読んでみたい、何回か来て少しずつ読んでみたいです。

○体験者の方々がお亡くなりになっていると聞いたので、証言映像は特に有意義であると思います。2階の展示も実物が展示されており、説得力がありました。

野戦病院のジオラマ、音声朗読も理解を深めるため有益でした。小学校、中学校の社会見学、歴史授業の一環として、是非訪れて頂きたい施設だと思います。